



プロフィール

合唱団おおやま

平成7年8月に結成、平成8年8月に第1回演奏会を開催。以来毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラ・アンサンブル金沢との共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ペルト、ドプロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。

平成29年、富山県民会館で大編成の合唱団によりヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、「合唱団OEKとやま」と名称を改めた。来たる令和7年は結成30年を迎え、8月24日(日)に通算29回目となる結成30周年記念演奏会を新川文化ホールで開催する予定である。

一方、大山地域の施設などでのコンサートには「合唱団おおやま」の名称で毎年数回出演していた。コロナ禍による活動中止を経て、令和4年10月から活動を再開している。今年12月15日(日)には、合唱団おおやま主催事業として、日本を代表するプロ合唱団である東京混声合唱団の精鋭8人を迎え、富山県教育文化会館において、「東混ゾリスTENコンサート with 合唱団おおやま」を開催する。

合唱団員募集中。お問合せは谷崎(090-8093-7549)まで。

ホームページ:

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

Chorus
Ohyama

とやま健康パーク

みんなで歌おう♪ 青空コーラスコンサート

〔出演〕 合唱団おおやま

〔指揮〕 谷崎修一

〔ピアノ〕 村上麻理

日時 - 令和6年10月14日(日) 14:00 開演

会場 - とやま健康パーク 屋外オープンテラス (雨天時: 生命科学館)

主催 - 公益財団法人富山県健康づくり財団

プログラム

群青

作詞：福島県南相馬市立小高中学校平成 24 年度卒業生（構成・小田美樹）
作曲：小田美樹 編曲：信長貴富

作曲者の小田美樹は福島県生まれの音楽教諭。2011 年 3 月、勤務先の南相馬市立小高中学校で東日本大震災を経験した。生徒たちは震災と原発事故による避難で離ればなれとなってしまう。小田は生徒たちの作文やおしゃべりから同級生への思いをつづった言葉を書き留め、「群青」として再構成し、これに曲を付けた。曲は 2013 年 3 月の復興支援コンサート「Harmony for Japan」を機に広く知られることになり、メディアでもたびたび取り上げられ、全国的な反響を呼んだ。

能登の翼

作詞：椿れい 作曲：渡辺俊幸

今年 1 月 1 日に発生した能登半島地震の犠牲者の鎮魂と能登の復興を祈るため、七尾市在住の作詞家・歌手の椿れいが作詞、大河ドラマ「利家とまつ」のテーマ曲を作曲した渡辺俊幸が作曲した。能登半島地震で亡くなった 13 歳の少年の遺族の悲しみや懸命に前を向こうとする姿を描いている。

The long and winding road

作詞作曲：ジョン・レノン & ポール・マッカートニー 編曲：倉知竜也

「この長く曲がりくねった道は、君の扉へ導いてくれる。決して消えることはない。」
1970 年、アメリカで発売されたビートルズ最後のオリジナルシングル。実際はマッカートニーの作詞作曲。その前月にマッカートニーはビートルズからの脱退を公表している。編曲は、2009 年の第 14 回合唱団おおやま演奏会用に編曲してもらったもの。

発声講座 ～青空の下、おなかの底から声を出してみませんか～

講師：谷崎千鶴

みんなで歌おう ～2 部合唱でハモる楽しさを体験～

「春の小川」 混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」より

混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」

「故郷」「春の小川」「朧月夜」「鯉のぼり」「茶摘」「夏は来ぬ」
「われは海の子」「村祭り」「紅葉」「冬景色」「雪」「故郷」

編曲：源田俊一郎

「故郷」で始まり、春から夏、秋を経て冬へと季節の唱歌をメドレーで歌う心なごむアルバム。

I believe

作詞：絢香 作曲：西尾芳彦 編曲：倉知竜也

絢香のデビュー曲。2006 年発売当時、絢香は高校 3 年生だった。親友のフィギュアスケーター安藤美姫が 06-07 年のエキシビジョンでこの曲を使用していた。「自分を信じることですべてが始まる」という凜（りん）とした少女の決意に勇気づけられる思いがする。編曲は、2014 年の第 19 回合唱団おおやま演奏会用に編曲してもらったもの。